

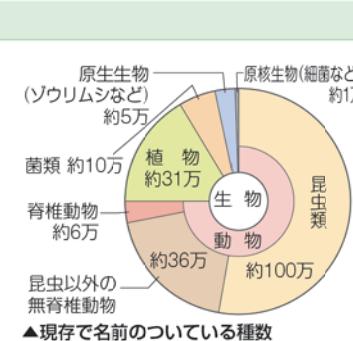
# 細胞と代謝

## 1 生物の多様性と共通性

### 1 生物の多様性

最初の生物が地球上に誕生したのは約38億年前。その後、生物は、多様な環境の中で多様に進化してきた。

・種…生物分類の基本単位。共通の特徴をもち、交配して生殖能力のある子孫を残すことができる集団。地球上には数千万種の生物が存在していると考えられているが、名前がついているのは約190万種。



### 2 生物の共通性

多様な生物にも共通性が見られる。

- ・体が細胞でできている。
- ・生命活動にはエネルギーが必要で、エネルギーをATPという分子に蓄える。
- ・遺伝物質としてDNAを用い、子孫をつくる。
- ・体内環境を一定に保つしくみ(恒常性)をもつ。

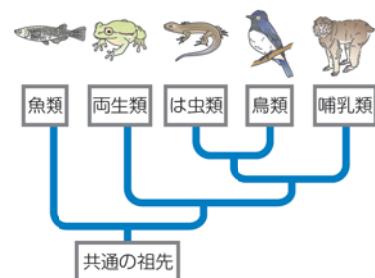
(参考) このほかにも、刺激に対し反応すること、進化することなども挙げられる。

(参考) ウィルスは、タンパク質の殻に遺伝物質(DNAまたはRNA)が入った構造をしている。しかし、細胞構造ではないこと、ほかの細胞を利用しないと増殖することができないことなどから、生物と無生物の中間に位置すると考えられている。

### 3 進化と系統

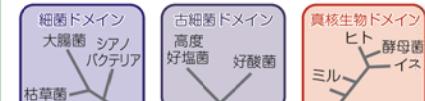
系統樹…生物が進化してきた経路

(系統)を樹木のように示したもの。



### 分子系統樹

DNAの塩基配列やタンパク質のアミノ酸配列などの違いをもとにつくられた系統樹。この方法により原核生物の細菌と古細菌の大きな相違が明らかとなり、3ドメイン説が提唱された。



▲分子系統樹



### 4 多細胞生物の階層性

- ・分子が集まりさまざまな種類の細胞ができる。
- ・同じような形や働きをもつ細胞が集まり組織ができる。
- ・いくつかの組織が集まり器官ができる。
- ・さまざまな器官が集まり個体ができる。

## 2 生物の共通の単位-細胞-

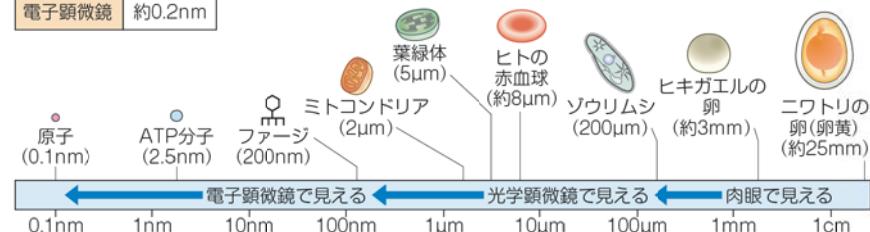
### 1 細胞の発見

|      |                              |        |                         |
|------|------------------------------|--------|-------------------------|
| フック  | 自作の顕微鏡でコルクを観察し、細胞を発見(1665年)。 | シュライデン | 植物で細胞説を提唱(1838年)。       |
| シュワン | 動物で細胞説を提唱(1839年)。            | ショーワン  | 動物で細胞説を提唱(1839年)。       |
| ブラウン | 核を発見(1831年)。                 | フィルヒョー | 「細胞は細胞から生じる」と提唱(1855年)。 |

細胞説…「細胞は生物体をつくる基本単位である」という説。

### 2 細胞の大きさ

|       | 分解能    |
|-------|--------|
| 光学顕微鏡 | 約0.2μm |
| 電子顕微鏡 | 約0.2nm |



### 3 原核細胞と真核細胞

#### 原核細胞

核をもたない細胞。原核細胞からなる生物を原核生物といふ。

例 細菌類(ネンジュモなどのシアノバクテリア、大腸菌など)

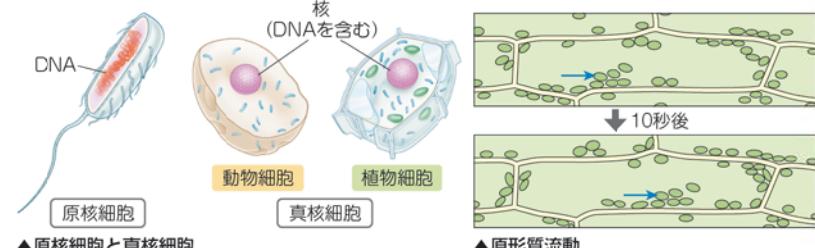
#### 真核細胞

核をもつ細胞。核と細胞質に分けられる。細胞内には特定の働きをもつ細胞小器官が見られる。真核細胞からなる生物を真核生物といふ。

例 原生生物、植物、菌類、動物

細胞は細胞膜に包まれており、細胞膜とその内部を原形質といふ。原形質は、核と細胞質からなる。植物や細菌類の細胞では、細胞膜の外に細胞壁がある。

細胞質流動(原形質流動)…生きた細胞で観察される、細胞の内部が動く現象。



# STEP 1

下記の文章が説明している語句を答えよ。また、語句の意味を完璧にマスターしたいときには、右の説明文を隠し、左の語句の意味を説明せよ。

- 1 species
- 2 evolution
- 3 phylogenetic tree
- 4 cell theory
- 5 protoplasmic streaming
- 6 prokaryotic cell
- 7 eukaryotic cell
- 8 cell membrane
- 9 cell wall
- 10 nucleus
- 11
- 12 chloroplast
- 13 unicellular organism
- 14 cell colony
- 15 multicellular organism

**共通の特徴**をもった個体の集まり。交配して**生殖能力**のある子を残すことができる**集団**。  
 生物が**長い時間の中で**世代を重ねる間に遺伝的性質が**変化**していくこと。  
 生物が進化してきた経路(系統)を**樹木のように**示したもの。  
 「**細胞**は生物体をつくる**基本単位**である」という説。  
 生きた細胞で観察される、**細胞の内部**が動く現象。  
**核をもたず**、DNA が細胞質基質内にある細胞。  
**核をもつ**細胞。特定の働きをする**細胞小器官**という構造体がある。  
 細胞内部を**外界から仕切る**薄い膜。細胞内外の物質のやりとりも行う。  
 植物細胞や**細菌類**の細胞に見られる、細胞質を保護する**細胞膜の外側**のかたい構造。  
 真核細胞に存在する、**染色体**を含む**球形**の構造。  
 呼吸の場であり、**酸素を用いて**有機物を**分解**し、エネルギーを取り出す細胞小器官。  
 光合成の場であり、緑色の色素**クロロフィル**を含む細胞小器官。  
 体が**1 個の細胞**からできている生物。  
 単細胞生物の**集合体**で、1つの個体のように生活する**集団**。オオヒゲマワリ(ボルボックス)などがある。  
 分化した**多数の細胞**からできている生物。

答 1 種 2 進化 3 系統樹 4 細胞説 5 細胞質流動(原形質流動) 6 原核細胞  
 7 真核細胞 8 細胞膜 9 細胞壁 10 核 11 ミトコンドリア [mitochondrion](单数形)  
 12 葉緑体 13 単細胞生物 14 細胞群体 15 多細胞生物

- 16 metabolism
- 17 anabolism
- 18 catabolism
- 19 autotroph
- 20 heterotroph
- 21
- 22 high-energy phosphate bond
- 23 catalyst
- 24 enzyme
- 25 photosynthesis
- 26 assimilation starch
- 27 translocation
- 28 respiration
- 29 respiratory substrate
- 30 theory of endosymbiosis

生体内で起こる、物質の**合成**や**分解**などの化学反応。  
 単純な物質から複雑な物質を**合成**する反応。  
 複雑な物質を単純な物質に**分解**する反応。  
 植物のように、無機物を利用して**有機物**を**合成**できる生物。  
 動物や菌類のように、ほかの生物の**有機物**を**摂取**し利用する生物。  
 すべての生物において、**エネルギーの仲立ち**をする物質。**エネルギーの通貨**。  
 ATP などの分子内にある、大量のエネルギーを蓄える**リン酸どうしの結合**。  
 化学反応の前後で**自身は変化せずに**、**化学反応**を**促進**させる物質。  
 生体内で**触媒**として働く**タンパク質**。  
 光**エネルギー**を利用して、二酸化炭素と水から有機物を**合成**する反応。  
 葉緑体に**蓄えられる**、光合成産物の**デンプン**。  
 スクロースなどの物質が、植物体内のある組織から別の組織に**運搬**されること。  
 酸素を用いて有機物を**分解**し、エネルギーを取り出す反応。  
 炭水化物・脂肪・タンパク質など、呼吸によって分解される**有機物**。  
 ミトコンドリアは酸素を使って呼吸を行う細菌が、葉緑体はシアノバクテリアが、ほかの細胞に**共生**したことによって生じたとする説。

答 16 代謝 17 同化 18 異化 19 独立栄養生物 20 従属栄養生物  
 21 ATP(アデノシン三リン酸)[adenosine triphosphate] 22 高エネルギーリン酸結合  
 23 触媒 24 酵素 25 光合成 26 同化デンプン 27 転流 28 呼吸 29 呼吸基質  
 30 細胞内共生説(共生説)